



会長 古内 一二

=会長指針=

副会長 山口 徹

幹事 今野 義也

お互いを理解しあおう

・・・ 例会記録 ・・・

4月第4週例会 2023年 4月27日(木)

ソング : 奉仕の理想 ボックス : 19,000円 (報告者 熊谷雅也会員)

本日出席率 : 60.00% 前回修正後 60.00% (メールアップ 4名) (報告者 紀室綾子会員)

★ 会長の時間 : 古内一二会長



まずは私のホーム盛町に来ていただきありがとうございます。

多少むさくるしい場ですが、数少ない残りの冷夏はここで行いますので、皆さんご協力のほどよろしくお願いします。今日は、西ロータリーとして盛での例会となるので、今日の会長の時間は盛町の事をお話ししたいと思います。

まずは、この建物ですが、正式名称は「福祉会館」と言います。昭和48年に町の活性化と、振興組合設立の為、商店街の皆様の出資の元建てられたものです。因みに盛町では「振興組合」とおっております。現在は、我々振興組合の事務所のほかに、倫理法人会、たばこ組合、双葉冷機の事務所としても使われておりますし、五葉ライオンズクラブも例会場としてこの場所を利用してあります。設立と当時は上木町から愛宕町の間、振興組合区間に70の店が並び、商店街も大変活気があり、いい時代だったのだと思います。今はその3分の1位の店舗しか無い、少子高齢化の見本みたいな町ですが、盛町の住民としては少しでも賑わいを維持しようと頑張っております。

商人の町として発展してきた盛町の歴史は、商店街の歴史といつても過言ではありません。盛の人は「サカリチョウ」とは言いません、あくまでも「サカリマチ」です。昔ながらの承認の町としてのプライドは今でもあります。また、盛は文化のある町です。特に震災の時も休むことなく行われた「あんどん七夕」は盛町の人にとっては特別なものです。(これは大変悩みました。しかし、町の長老さん達のアドバイスで七夕は法事であることを知り決行しました。)

昔一中の評議員をしていたころ、ある先生から「盛の子どもは祭りが好きな子が多い」と言われたことがあります。夏が来ると盛の七夕は、毎日毎夜各公民館で子どもから大人まで一緒に山車を作ります。当日は全員参加です。こうして祭りを通して、子どもから大人まで地域の人々同士の交流と秩序が自然と生まれてくるのだと思います。

子どもも少ない今、祭りもだんだん難しい時代を迎えておりますが、七夕祭りの際には、ここ振興組合事務所が本部になります。見に来た際には、気軽にお立ち寄りください大歓迎いたします。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

なし

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

★ 藤原小委員長



今日は、ロータリー財団アワーと言うことですので、今年度財団小委員長おおせつかつております藤原が卓話を務めさせて頂きます。

まず、ロータリー財団とはなにか。 1917 年にロータリー基金として発足し、1931 年に信託組織となり、1983 年に米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となり、ロータリー財団は、財団の法人設立定款と細則に従い、ロータリー財団管理委員会が慈善的及び教育的目的の為にのみ、運営するものとする団体です。

財団の使命は、教育の推進、きれいな水の提供、平和の構築、母子の健康の支援、疫病（ポリオ等）の予防の為の 補助金を通じて、ロータリー財団の使命を果たすことに多大な力を注いでいる団体です。私も財団小委員長ではありますが、皆さんと同じようにロータリー財団については詳しくありませんので、一緒に勉強したいと思い無いかないか探してもらったところ 2020-2021 年度 2650 地区で、地区ロータリー財団オンラインセミナーが行われており、2770 地区パストガバナー 北 清治様のお話が、内容の濃い講話となっておりますので一緒に勉強したいと思います。映像的には 90 分位の講演でしたが、時間の都合上 20 分位に編集しておりますので、若干話の内容及び映像等乱れると思いますが宜しくお願ひいたします。

2650 地区ロータリー財団オンラインセミナー映像視聴

再度になりますが、財団の使命は、教育の推進、きれいな水の提供、平和の構築、母子の健康の支援、疫病（ポリオ等）の予防の為の事業を、運営するに当たり運営資金を、集めなければなりません。

今年度からロータリー財団に対するご寄付を、少しでも見える可、そしてご寄付をしやすい環境を作るために、ニコニコ BOX の隣に ロータリー財団用の受付場所を作りましたので宜しくお願ひ致します。

（会員一人当たり 100 ドル目標）

今年度 3 月現在寄付者合計金額￥248,000 円

2016-17 濱守ガバナ一年度におかれまして、寄付金 0 クラブを無くそうと頑張られました。大船渡西 RC でも寄付金会員 0 クラブを、目標として参りたいと思いますので宜しくお願ひ致します。

大船渡西 RC ではこれまで、韓国南原中央 RC との青少年交流事業・港公園に設置されている愛の鐘設置事業等、多くの事業をしております。その事業をするにあたり、その資金を地区に地区補助金を申請して行われております。その地区補助金を申請するに当たりましても、そしてこれからも大船渡西 RC において数多くの事業が行われていくと思います。その事業におきましてもロータリー財団に、少しでも多くの御寄付のご協力を会員皆様にお願いいたします。 今年度後残すところ 2 ヶ月程ではありますが、今後ともロータリー財団に対しましてご支援・ご協力をお願いいたしまして卓話をいたします。

ご清聴ありがとうございました。